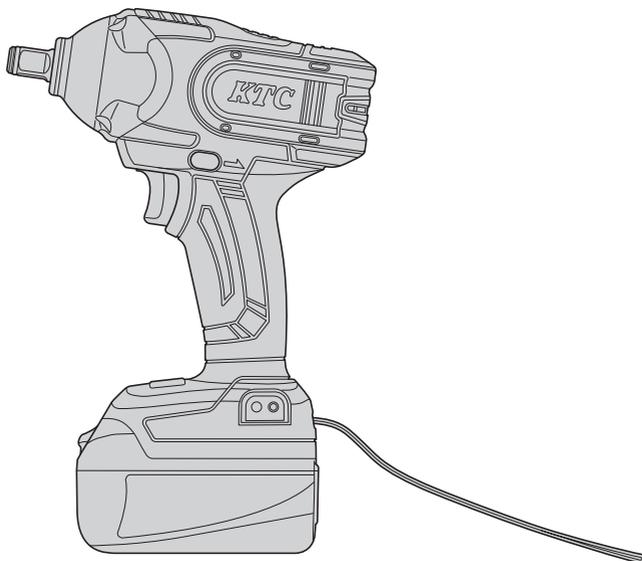


KTC

業務用

このたびは当社製品をお買い上げいただき、
まことにありがとうございます。
この取扱説明書をよくお読みいただき、安全
にご利用ください。

12.7sq. コードレス トルクリミットインパクトレンチセット No.JTAE411A 取扱説明書



梱包内容をご確認いただき、不足、破損のある場合は、お求めの販売店までお申し出ください。

- 第三者に譲渡・貸与される場合も、この取扱説明書を必ず添付してください。
- この取扱説明書は、必要なときにすぐ読めるように、大切に保管してください。

発売元：京都機械工具株式会社

〒613-0034 京都府久世郡久御山町佐山新開地 128 番地

本製品に関するお問い合わせは、お求めの販売店、もしくは、お客様窓口にご連絡ください。

お客様窓口

☎ (0774)46-4159

☎ (0774)46-4359

E-mail : support@kyototool.co.jp

電話受付時間：9:00～12:00/13:00～17:00

(土・日・祝祭日及び当社休業日除く)

製品情報 ktc.jp

製造国：台湾

※仕様及び外観は改良の為予告なく変更することがあります。

T072002-0,21,04,KTC

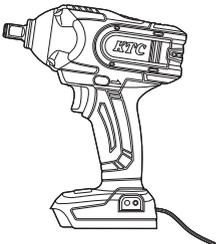
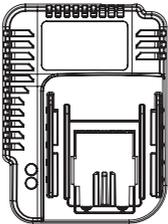
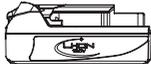
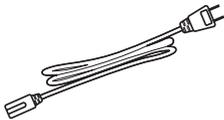
もくじ

製品の機能	3
梱包内容	3
■開梱と再梱包	3
製品仕様	4
■インパクトレンチ本体 No.JAE411	4
■充電器 No.JHE180H	4
■バッテリーパック No.JBE18020H	4
お使いになる前に	5
○バッテリーパックの充電	5
○LED ライトについて	5
安全シグナルについて	5
安全上のご注意	5
本体の使用方法	7
■バッテリーパックの装着と充電方法	7
○バッテリーパックの取り外し	8
○バッテリーパックの装着	8
○充電する	9
■バッテリーパックの充電	9
○充電器ランプの見かた	9
○バッテリーインジケータの見かた	9
■バッテリーパックについて	10
○長くお使いいただくために	10
○長時間ご使用にならないとき	10
○バッテリーパックの寿命	10
○バッテリーパックの廃棄	10
■インパクトレンチの使用方法	10
○インパクトレンチ用先端工具	11
○先端工具を取り付ける	11
○インパクトレンチを操作する	12
○LED ライト	12
○仮締めモードの操作	13
■保管方法とメンテナンス	14
○作業が終わったら	14
○メンテナンス	14
■製品の廃棄について	14
故障かな?と思ったら	15

製品の機能

この製品は、ボルト・ナットを緩めたり、仮締めしたりすることを目的とする、トルクリミット機能付きの電動コードレスインパクトレンチです。
他の目的には、使用しないでください。

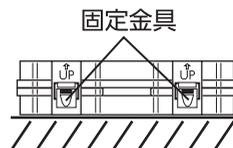
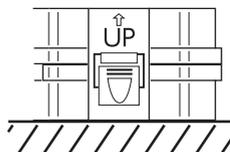
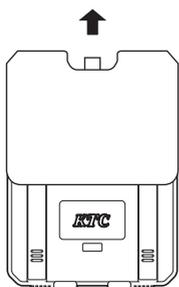
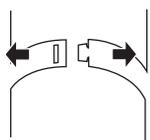
梱包内容

本体	充電器	バッテリーパック
		 2個
電源コード	専用ケース	取扱説明書
		

■開梱と再梱包

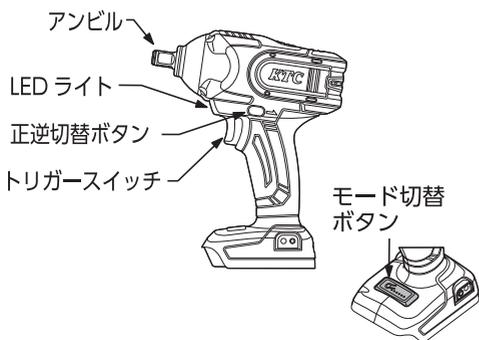
開梱手順は、以下のとおりです。再梱包は、開梱と逆の手順で実施します。

1. スリーブの固定用帯を外します。
2. スリーブを上側に引き抜きます。
3. 専用ケースの上面に記載されているUPが、上側に来るように、水平な場所に置きます。
4. 左右の固定金具を外し、専用ケースを開きます。



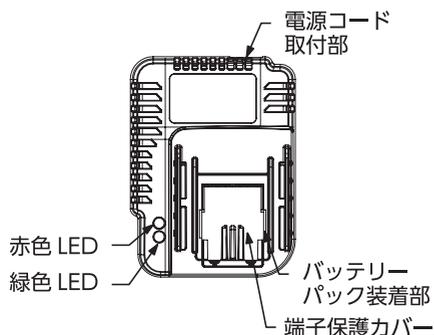
製品仕様

■インパクトレンチ本体 No.JAE411



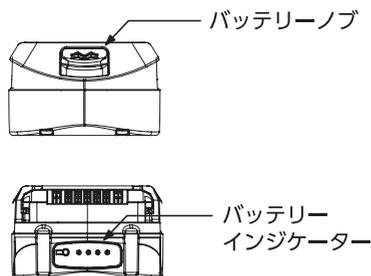
方式	コードレス充電式電動インパクトレンチ
入力電圧	18V DC
能力ボルト	六角ボルト M6～M14=10mm～21mm
締付トルク	フルパワーモード時 300N・m (気温 20℃満充電時) 仮締めモード時 フルパワーモードの約 25% (締付方向のみ)
無負荷回転数	0～2300rpm
四角ドライブ(アンビル)	12.7sq.
寸法	W177×D80×H262
重量	1.4kg

■充電器 No.JHE180H



入力電圧	100V
入力周波数	単相交流 50/60Hz 共用
電力(最大)	60W
出力電圧	10.8・14.4・18V DC
出力電流	3.0A / 2.3A
操作温度	0～50℃
保管温度	-20～70℃
寸法	W145×D109×H78

■バッテリーパック No.JBE18020H



充電池	リチウムイオン電池
公称電圧・容量	18V DC・2000mAh
充電時間	約 50分*
寸法	W117×D80×H49
重量	0.6kg
充電器	JHE180H 専用充電器にて充電

※バッテリーパックの状態や充電されている環境により変化します。

お使いになる前に

○バッテリーパックの充電

ご購入時にバッテリーパックは満充電されていません。ご使用前に必ず充電してください。



- ・充電は 0 ~ 50℃の場所で行う。
- ・バッテリーパックの温度が 0℃以下、または充電器が置かれている環境と大きく温度差がある場合は、バッテリーパックを充電器が置かれている環境で放置（1 時間以上）してから充電を行う。
- ・バッテリーパックを 2 個以上連続で充電する場合は、充電器が冷えるまで 30 分以上休止させる。

○LED ライトについて

本体に装着されている「LED ライト」は、トリガースイッチの操作と連動して点灯し、作業する部分を照らす為のものです。懐中電灯代わりにはなりません。



- ・暗所の移動に使用しない。
- ・LED ライトを直接見たり、人に向けない。

安全シグナルについて

この取扱説明書では、誤った使い方をした時に発生する危害や損害の程度を、以下のように区分しています。



警告 誤った使い方をすると、死亡または重傷を負う可能性があります。



注意 誤った使い方をすると、負傷または器物損傷の原因となる可能性があります。

安全上のご注意

この取扱説明書には以下のマークを付けています。

拡大損害が予想される事柄	禁止行為
必ず行う	分解禁止

使用前にこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく使用してください。

警告 死亡や重傷の原因となる。		
絵表示	重要事項	危害・損害
	●専用バッテリーパック、充電器以外は使用しない。	感電による死亡や重傷の原因になる。
	●雨中や湿気の多い場所で使用しない。	感電による死亡や重傷の原因になる。
	●ぬれた手で使用しない。	感電による死亡や重傷の原因になる。
	●可燃性ガスや液体のある場所で使用しない。	感電による死亡や重傷の原因になる。
	●点検及び保管時は、バッテリーパックを本体から取り外す。	ケガや器物破損の原因になる。
	●本体を持って移動する時は、トリガーに指をかけない。	ケガや器物破損の原因になる。



警告

死亡や重傷の原因となる。

絵表示	重要事項	危害・損害
	●暗い場所で作業を行わない。	ケガや器物破損の原因になる。
	●保護めがねや保護マスク、耳栓などの保護具を使用する。	ケガや器物破損の原因になる。
	●作業対象物を必ず固定する。	ケガや器物破損の原因になる。
	●バッテリーパックの装着は、トリガースイッチを切った状態で行う。	ケガや器物破損の原因になる。
	●バッテリーパックを火中に投入しない。	破裂や有害物質発生の原因になる。



注意

ケガや器物損傷の原因となる。

絵表示	重要事項	危害・損害
	●分解及び改造をしない。	感電による死亡や重傷の原因になる。
	●保守点検を必ず行う。	ケガや破損の原因になる。
	●本体に亀裂や破損が無いか確認する。	ケガや破損の原因になる。
	●小さい子供がふれない所に保管する。	ケガや破損の原因になる。
	●トリガースイッチで始動、停止のできない製品は、使用中を中止する。	ケガや破損の原因になる。
	●本体が熱くなったり、異常を感じたら使用中を中止する。	ケガや器物損傷の原因になる。
	●本体に落下などの強い衝撃を与えない。	本体の破損や器物損傷のおそれがある。
	●本体を投げない。	本体の破損や器物損傷のおそれがある。
	●直射日光の当たる場所や熱機器の近くなど、高温の場所には放置しない。	破損の原因になる。
	●水の中に落としたり、水の中に放置したりしない。	破損の原因になる。
	●取扱説明書に記載している以外の用途には、使用しない。	ケガや器物損傷の原因になる。
	●化学薬品、海水、水分などを付着させたまま放置しない。	破損の原因になる。
	●本体に油やグリースが付いた状態で使用しない。	ケガや器物損傷の原因になる。
	●本体、バッテリーパック、充電器に異物が混入しないようにする。	ケガや本体の破損、器物損傷のおそれがある。
	●修理は、必ず購入した販売店に依頼する。	ケガや器物損傷の原因になる。

本体の使用法

■バッテリーパックの装着と充電方法

 警告 <small>けいこく</small> 死亡や重傷の原因となる。		
絵表示	重要事項	危害・損害
	●電池が液漏れしたり、異臭がしたりするときは、使用を中止する。	発熱、破裂などのおそれがある。万が一、電池の液が皮膚や衣服に付着した場合は、すぐに多量のきれいな水で洗い流す。
	●分解及び改造をしない。	感電による死亡や重傷の原因になる。
	●バッテリーパックに衝撃を加えない。	感電による死亡や重傷の原因になる。
	●専用の充電器以外は、使用しない。	ケガや器物損傷の原因になる。
	●換気の良い場所で充電する。	ケガや器物損傷の原因になる。
	●充電時間が極端に短くなったバッテリーパックは、使用しない。	感電による死亡や重傷の原因になる。
	●ぬれた手で使用しない。	感電による死亡や重傷の原因になる。
	●充電中に布や可燃物で覆わない。	火災や器物損傷の原因になる。
	●バッテリーパックを他の工具類と一緒に保管しない。	火災や器物損傷の原因になる。
	●バッテリーパックの端子間を短絡させない。	火災や器物損傷の原因になる。
	●電源コードに異常が見られる場合は、使用を中止する。	ケガや器物損傷の原因になる。

本体の使用方法

■バッテリーパックの装着と充電方法

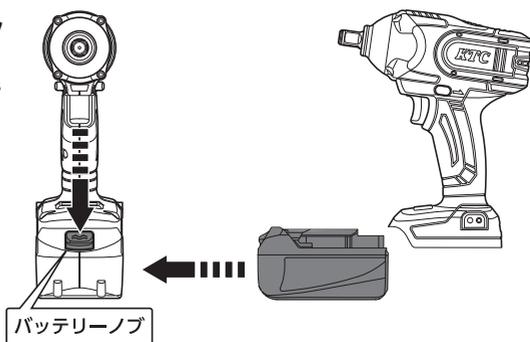


注意

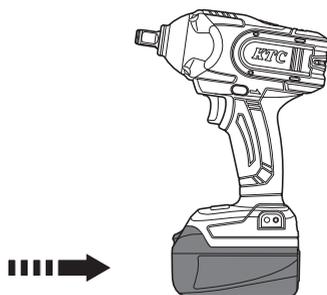
ケガや器物損傷の原因となる。

絵表示	重要事項	危害・損害
❗	●充電器を使用しないときは、電源プラグを抜く。	ケガや破損の原因になる。
❗	●充電器は、必ず100Vの電源を使用する。	ケガや破損の原因になる。
❗	●電源コードは、定期的に点検する。	ケガや破損の原因になる。
⊘	●直流電源やエンジン発電機に充電器を接続しない。	ケガや破損の原因になる。
⊘	●温度が0℃未満、あるいは50℃以上の環境で充電を行わない。	ケガや破損の原因になる。
⊘	●充電器の電源コードを持って運ばない。プラグを持ってコンセントから抜く。	破損の原因になる。
⊘	●電源コードを熱源に近づけない。	破損の原因になる。
❗	●バッテリー及び本体の端子部にキズやホコリが付かないようにする。	破損の原因になる。

- バッテリーパックの取り外し
バッテリーノブを押しながら、
バッテリーパックを前方に引き出す。



- バッテリーパックの装着
- ①バッテリーパックを本体に装着する。
 - ②バッテリーノブのロックがかかったことを確認する。

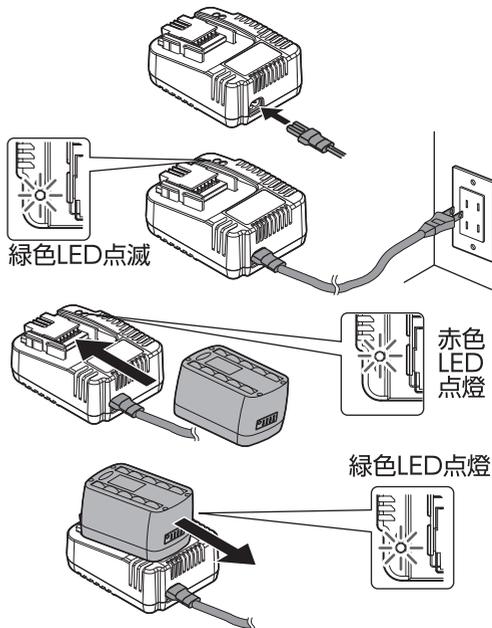




- ・本体の端子部に異物が無い事を確認する。
- ・バッテリーパックがスムーズに装着できない場合は、無理に装着せず、購入した販売店に修理を依頼する。

○充電する

1. 充電器に電源コードを取り付ける。
2. コンセントに電源コードを差し込む。
緑色LEDが点滅（遅い）する。
3. バッテリーパック及び充電器の端子部に異物が無い事を確認し、充電器にバッテリーパックを装着する。
赤色LEDが点燈する。
4. 充電が完了したら、バッテリーパックを取り外す。
緑色LEDが点燈する。



■バッテリーパックの充電

○充電器ランプの見かた

充電時は、以下の方法で充電状態を表わします。

ランプの見かた

●●	遅い点滅
●●●	速い点滅
—	点燈

LED		内 容	充電器及びバッテリーパックの状態
緑	赤		
●●		通電中	充電器の電源が入っています。
	—	充電中	正常に充電しています。
●●●		80%充電完了	
—		充電完了	正常に充電が完了しました。
	●●	バッテリーパック温度異常	バッテリーパックの温度が異常です。 適正な温度になってから充電してください。
—	—	バッテリーパック不明	バッテリーパックの故障か、正規のバッテリーではありません。

○バッテリーインジケータの見かた

バッテリーパックにあるインジケータは、チェックボタンを押すことで、その時点のバッテリーの状態を表示します。



■バッテリーパックについて

○長くお使いいただくために

- ・本製品のバッテリーは、リチウムイオン電池です。バッテリーパックは、使用后、充電せずに保管してください。
- ・バッテリーパックを使用しないときは、ホコリが付かない場所で保管してください。
- ・短絡させないように保管してください。

○長時間ご使用にならないとき

- ・本製品のバッテリーは、リチウムイオン電池です。長時間保管する場合には、充電せずに保管してください。

○バッテリーパックの寿命

- ・満充電しても、ご購入後と比較して半分程度の作業しかできなくなったときは、バッテリーパックの寿命です。新しいバッテリーパックをお買い求めください。バッテリーパックは、消耗品扱いとなります。

○バッテリーパックの廃棄

- ・本製品に使用しているリチウムイオン電池は、リサイクル可能な貴重な資源です。ご使用済みのバッテリーパックは廃棄せず、リサイクル協力店までお持ちください。



	・バッテリーパックを火中に投入しない。
	・バッテリーパックを廃棄するときは、テープなどを使用し、短絡防止の措置をとる。

■インパクトレンチの使用方法

警告 <small>けい こく</small> 死亡や重傷の原因となる。		
絵表示	重要事項	危害・損害
	●本体を確実に保持する。	ケガや器物破損の原因になる。
	●回転する先端に顔や手を近づけない。	ケガの原因になる。
	●長時間の連続作業はしない。	本体の温度上昇で、ケガや器物破損の原因になる。
	●密閉された空間で使用しない。	発煙、発火、破裂のおそれがある。

注意 <small>ちゅう い</small> ケガや器物損傷の原因となる。		
絵表示	重要事項	危害・損害
	●先端工具は、取扱説明書に従い、確実に取り付ける。	ケガや器物破損の原因になる。
	●軍手などの巻き込みのおそれがあるものは使用しない。	ケガや器物破損の原因になる。
	●スカーフやネクタイなどの巻き込みのおそれがあるものは着用しない。	ケガや器物破損の原因になる。
	●インパクトレンチ用ソケットを使用する。	ケガや器物破損の原因になる。



ケガや器物損傷の原因となる。

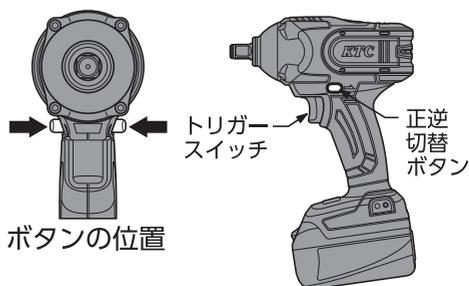
絵表示	重要事項	危害・損害
	●空回転させない。	先端工具が飛び、ケガや器物破損の原因になる。
	●本体から出る空気に触れない。	火傷やケガの原因になる。
	●締め付け後は、トルクレンチで確認する。	規定トルクが指定されているものは、トルクレンチを使用する。

○インパクトレンチ用先端工具

先端工具は、インパクトレンチ用ソケットをご使用ください。

○先端工具を取り付ける

1. トリガースイッチをロックする。
正逆切替ボタンを中央で止め、
トリガースイッチをロックする。



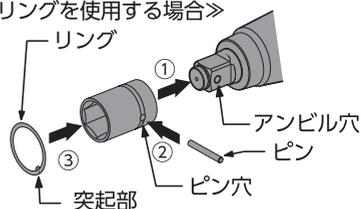
先端工具を取り付ける前に、トリガースイッチがロックされていることを確認する。

2. 先端工具を取り付ける。

《ピン・リングを使用する場合》

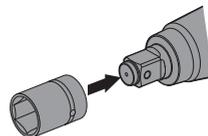
- ①ソケットのピン穴とアンビル穴の位置を合わせて取り付ける。
- ②ピンを入れる。
- ③リング内側の突起をピン穴に入れるようにを取り付け、ピン抜けを防止する。

《ピン・リングを使用する場合》



《ピン・リングを使用しない場合》

《ピン・リングを使用しない場合》
アンビルにソケットを取り付ける。



先端工具の取り付け後、作業前にソケットの装着状態を確認する。

●ピン・リング使用時：ピンが飛び出さないようにリングが装着されているか。

●ピン・リング未使用時：ソケットが容易に外れないか。

KTC製品以外のインパクトレンチ用ソケットの場合は、使用するメーカーの取扱説明書に従って装着する。

■インパクトレンチの使用法

○インパクトレンチを操作する

正逆切替ボタンの操作で回転方向が切り替えられます。ボタンを中立位置にすると、トリガースイッチをロックできます。

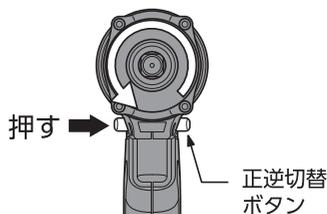
- ・回転方向の切替<正転>
インパクトレンチを正転方向に切り替える。

- ・回転方向の切替<ロック>
インパクトレンチのトリガースイッチをロックする。

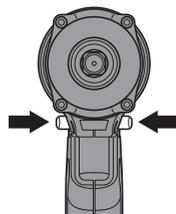
- ・回転方向の切替<逆転>
インパクトレンチを逆転方向に切り替える。

- ・トリガースイッチの操作
トリガースイッチを引くことでアンビルが回転。

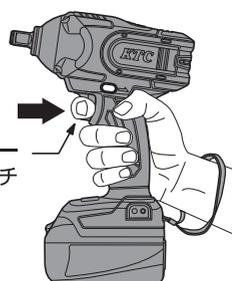
《正転》



《ロック》



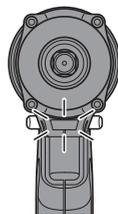
《逆転》



- 作業時は、右図のようにストラップに手を通して使用すること。
- 正逆切替ボタンはモーターが完全に停止してから操作すること。

○LED ライト

トリガースイッチの操作に連動し、LEDライトが点灯する。



○仮締めモードの操作

モード切替ボタンを操作することで、インパクトレンチを「仮締めモード」に切り替えることができます。

「仮締めモード」は「フルパワーモード」時の約25%の締め付け力になります。

1. 正逆切替ボタンを正転方向に切り替える。
2. トリガースイッチを引き、アンビルを回転させると、モード切替ボタンのLランプのみが点灯（「仮締めモード」）、またはHランプとLランプの両方が点灯（「フルパワーモード」）する。
3. HランプとLランプの両方が点灯している場合は、モード切替ボタンを押し、Lランプのみが点灯している状態にする。

「仮締めモード」と「フルパワーモード」は、モード切替ボタンを押すごとに切り替わる。

		設定モード	
		仮締めモード	フルパワーモード
回転方向	正転	仮締め	フル
	逆転	フル	フル

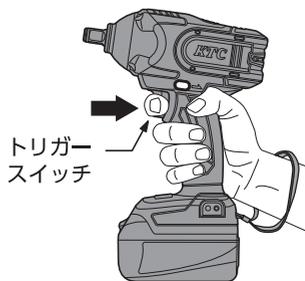
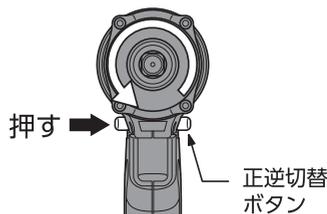
確認

- 「仮締めモード」は、「正逆切替ボタン」が正転方向に切り替えられているときに作動します。
- 「仮締めモード」に切り替えても、逆転方向ではフルパワーモードで作動します。
- 「仮締めモード」時の締め付け力は、電池の状態やボルト・ナットの状態により、異なる場合があります。

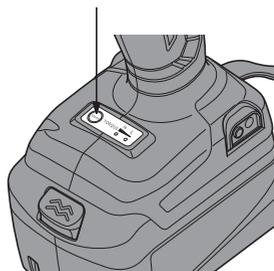


- 「仮締めモード」を使用して締め付けたボルト・ナットは、必ずトルクレンチを使用して規定のトルク値まで締め付ける。

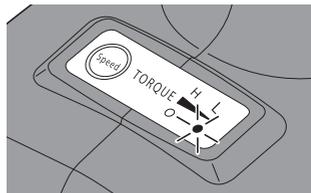
《正転》



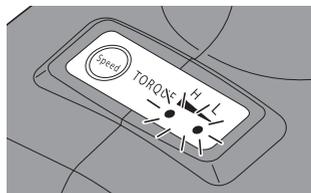
モード切替ボタン



《仮締めモード時》



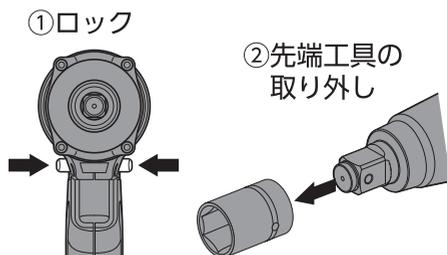
《フルパワーモード時》



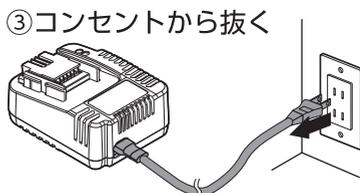
■保管方法とメンテナンス

○作業が終わったら

- ①正逆切替ボタンをロック位置にする。
- ②先端工具を取り外す。



- ③充電器の電源コードをコンセントから抜く。
- ④専用ケースに入れ保管する。



●本体及び充電器

次のような場所で保管しない。

- ・子供の手が届く場所・自動車の車内・直射日光が当たる場所・多湿な場所
- ・ゴミ、ホコリの多い場所・溶剤などの引火物のある場所

●バッテリーパック

- ・リチウムイオンバッテリーは、使用後充電せずに保管する。
- ・ホコリの付かない場所で保管する。
- ・短絡させないようにする。

○メンテナンス

《本体の汚れ》

バッテリーを外した状態で実施すること。本体及びバッテリー、充電器が汚れた場合は、柔らかい布などを使用し、拭き取る。

《各部の点検》

バッテリーを外した状態で実施すること。各部ねじの緩み、充電器の電源コードなどの亀裂、破損などの異常がないか、定期的に点検する。



●本体及びバッテリー、充電器のふき取り

- ・ぬれた布やシンナー、アルコール、ベンジンなど揮発性のもので本体を拭かない。

●充電器、バッテリーパック

- ・充電器は、必ずコンセントから電源コードを抜いてメンテナンスを行う。
- ・端子部にゴミやホコリが付着している場合は、非金属製ブラシなどを使用して、端子部に無理な力がかからないように気を付けて取り除く。

■製品の廃棄について

本製品を廃棄するときは、廃棄する地域の自治体の条例に従い、適切に処理してください。

故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に、下記の点検をお願いします。

症 状	考えられる原因	対処の方法
動作が途中で停止する。		作業を中断し、本体の温度が下がってから使用する。
動作が途中で停止する。 バッテリーパックが温度異常 (パワーインジケーターが全て点滅する)。	本体が高温になり、保護機能が働いている。	作業を中断し、バッテリーパックの温度が下がってから使用する。
動かない。または動いてもすぐ止まる (パワーインジケーターのLED1個が点滅する)。	バッテリーパックを充電していない。	充電する。
動かない。トリガースイッチを引いても操作できない。	バッテリーパックと本体の接点部にゴミが付着している。	ゴミを取り除く。
	モーターブラシが摩耗している。	新しいモーターブラシに交換する。
満充電しているのに締付トルクが弱い。または回転が遅い。	バッテリーパックが故障している。	新しいバッテリーパックに交換する。
	バッテリーパックの寿命。	新しいバッテリーパックに交換する。
	バッテリーパックの残量が少なくなった。	充電する。
トリガースイッチを離すと、異音が生じて停止する。	バッテリーパックを長期間放置していた。または購入したばかりである。	充電する。
	温度が低い場所 (0℃以下) で保管したバッテリーパックを使用した。	バッテリーパックの温度が、0～50℃になってから再度充電する。
満充電しているのに締付トルクが弱い。または回転が遅い。	ブレーキの動作音。	故障ではない。
	バッテリーパックの寿命。	新しいバッテリーパックに交換する。
	温度が低い場所 (0℃以下) で保管したバッテリーパックを使用した。	バッテリーパックの温度が、0～50℃になってから再度充電する。



上記の対処方法を実施しても症状が改善されない場合は、直ちに使用を中止する。

故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に下記の点検をお願いします。

症 状

電源プラグを接続しても、通電中（スタンバイ）（緑色 LED が遅い点滅）にならない。

充電器にバッテリーパックを差し込んでも、通電中（スタンバイ）（緑色 LED が遅い点滅）のまま変化しない。

日常使用しているバッテリーパックが充電開始後 1.5 時間以上充電しても、充電完了（緑色 LED が点灯）にならない。

長期間使用していなかったバッテリーパックが充電開始後 4 時間以上充電しても、充電完了（緑色 LED が点灯）にならない。



上記の症状が見られる場合は、直ちに使用を中止する。

各部の点検で、症状の改善が見られない場合は、

本体・バッテリーパック・充電器

をセットで、ご購入の販売店もしくは KTC 取扱店に修理を依頼してください。